

防災教育をテーマとしたパネルディスカッションで講演しました(2015/12/9)

テーマ：防災教育，研究開発学校，公開研究会
場所：仙台市立七郷小学校

12月9日（水），仙台市立七郷小学校において、「自助と共助，夢や希望を育む防災安全科の研究開発」をテーマとした公開研究会が開催されました。仙台市立七郷小学校は，防災教育の実践研究を通して新しい教育課程・指導方法を開発するための研究開発学校として文部科学省から指定を受け，新領域「防災安全科」の研究開発に平成25年度から取り組んでいます。

公開研究会は，午前中に公開授業が行われ，午後に公開授業に対する学年別分科会による協議が行われ，最後に「自分の将来や社会に夢希望を持ち，災害に負けないで，たくましく生きようとする子どもの育成」をテーマとしたパネルディスカッションで構成されました。パネリストは，研究開発学校の運営指導委員会の委員から，当研究所の佐藤健教授（情報管理・社会連携部門）の他，小川和久教授（東北工業大学），藤岡達也教授（滋賀大学），藤井嘉津雄校長（仙台市立七郷中学校）が担い，亀崎英治研究主幹教諭（仙台市立七郷小学校）もパネリストに加わりました。

佐藤教授は，「地域に根差した防災／復興教育を支援するための地域の教育力と情報共有プラットフォーム」と題して講演を行いました。講演では，地域に根差した防災教育を実践しやすくするための情報共有プラットフォームの有効性やその活用事例を紹介しました。また，地域に根差した防災教育をより豊かにするためには，地域の教育力を発揮することの重要性を指摘しました。

パネルディスカッションの総合討論では，学校と地域との連携，小学校と中学校との連携，災害安全と交通安全との融合など，防災教育の普及と高度化にとって重要となるキーワードが議論されました。



分科会のようす



パネルディスカッションのようす

文責：佐藤 健（情報管理・社会連携部門）